市長会見の項目（概要）

と　き：令和４年１月 27 日(木)　14：00～
ところ：市政記者室

■ トヨタ新大阪販売ホールディングス株式会社からの燃料電池自動車の寄附について

＜担当：環境局環境施策部環境施策課（エネルギー政策）　電話：06－6630－3480＞

【フリップあり】

◆ 大阪市は、政府の方針に沿って、2050 年のカーボンニュートラル（脱炭素）をめざした環境・エネルギー政策を推進しており、産学官のプラットフォーム「H2Osaka（エイチツーオオサカ）ビジョン推進会議」を大阪府や堺市と共同運営するほか、水素に関する正しい知識の普及など、水素を日常生活や産業活動で利活用する「水素社会」の実現に取り組んでいる。

◆ 水素は、太陽光や風力などの自然エネルギーを使ってつくることもでき、利用段階で温室効果ガスを排出しないことから、「カーボンニュートラルのキーテクノロジーであり、新たな資源」とされる。

◆ 本市では、トヨタ新大阪販売ホールディングス グループの３社を含む大阪地区トヨタ各社と「エネルギー関連施策の推進に係る連携協定」を令和２年 12 月に締結し、先月 12 月の OSAKA 光のルネサンスで燃料電池自動車（ＦＣＶ）からイルミネーションへ給電するなど、普及促進のための取組を進めており、この度、トヨタ新大阪販売ホールディングス株式会社からＦＣＶをご寄附いただいた。

◆ 今回ご寄附いただいたＦＣＶは、車両本体にＦＣＶの啓発ラッピングが施されており、業務中にＰＲ活動ができ、各種イベント等でのＦＣＶ展示・給電デモに活用するほか、出前方式等の体験型講座や非常時のＦＣＶ活用例を防災訓練で実演するなど、水素社会の実現に向けての普及啓発に貢献できるものと考えている。

◆ こうした取組を通じて、カーボンニュートラルに向けた水素エネルギーの可能性や、燃料電池自動車の環境性能・給電機能などの魅力を伝えていきたい。

◆ なお、令和４年２月４日（金曜日）に市役所正面玄関前にＦＣＶを展示するとともに、トヨタ新大阪販売ホールディングス株式会社様からのご寄附への感謝状贈呈式を行う。